

巻頭言

ナチスの過去は現代の問題 —ネオナチは生きている—

ミッション・宣教の声 主幹 黒田 禎一郎



©Daniel Gast/Pixiolo.de

ヒトラーが政権を取った1933年1月30日から、すでに長い年月が経過しました。犯罪者ヒトラーが最高権力を握ったのは、クーデターによるものではありませんでした。ドイツ国民は選挙という民主的手段で彼の政党を選び、当時のヒンデンブルク大統領が正式に権力を与えたのでした。ヒトラーは権力を握るや否や、社会民主党や共産党などの野党を禁止し、ユダヤ人に対する迫害を始めました。ドイツ国民が自ら選んだ政治家が、民主政治の息の根を止めて人権侵害に乗り出してしまいました。12年間の暴力支配と第2次世界大戦の終着駅が、約600万人のユダヤ人のホロコーストでした。連邦議会のノルベルト・ランメルト議長は、「ナチスによる政権獲得は、事故ではなかった。これは偶然に起きたものでも、避けられないものでもなかった」と語っています。人類が決して忘れてはならない事実です。

史上例のない犯罪

世界の歴史を見るならば、大量虐殺は異なった時代に各地で、様々な民族によって行われてきたことは明らかです。ナチスが行った行為、それは恐るべき犯罪です。各地に工場のような施設を建て、流れ作業を行うようにして、罪のない市民を数百万人単位で殺してしまいました。ユダヤ人殺害を専門に行った親衛隊の「特務部隊」報告書には、彼らが毎日殺したユダヤ人の数を細かく記録して「戦果」をベルリンの本部に伝えていたことがわかります。そこには人間性のかけらもありません。ランメルト議長は、「ヒトラーは、偶然権力を取ったのではない。彼を選んだドイツ国民にも、

責任がある」と訴えています。

ドイツでは、マスメディアや出版業界は、ナチス問題を繰り返し取り上げています。ドイツが欧州連合(EU)の中で指導的立場にあり、周辺諸国から信頼されている背景には、ドイツ人が続けてきた「自己批判」と「謝罪」の努力があると言われます。ドイツの首相や大統領は、イスラエルへ行くたびに必ず慰霊施設を訪れ、謝罪の言葉を述べ続けています。

ネオナチは生きている

ところが大変心痛むことは、ドイツには数は少ないものの、今なおナチス思想を継承する者たちがいることです。例えば極右政党NPDは、すべての外国人をドイツの社会保障制度から締め出し、雇用を制限することを綱領の中で要求しています。旧東独のメクレンブルク=フォアポンメルン州の一部の地域では、市民の4人に1人がNPDを支持しています。NPDは同州の州議会で議席を持っているので、ほかの主要政党同様、政府から交付金を受けています。外国人排斥を求める極右政党が、公に政党として議会で動いているのです。

ネオナチは武装し、テロリストとして地下に潜行しつつあります。テロ組織「国家社会主義地下活動(NSU)」は、ドイツ全国でトルコ人やギリシャ人など10人を射殺しましたが、警察は10年間にわたり外国人同士の抗争と思い込んでいました。しかし、それが極右によるテロであることを見抜けませんでした。外国人を憎む勢力は、死に絶えていません。

ナチスの過去は現代の問題

NPDやNSUの問題は、ナチスの問題が決して過去の出来事ではなく、今なおドイツ社会に影を落としていることを物語っています。イスラエルやポーランドなど、ナチスの被害を受けた国々は、ドイツの一挙手一投足を常に見守っています。聖書は神の民であるユダヤ人がスケープゴートとなり、人類が犯した大罪を警告していることを忘れてはいけません。

“さらにあなたがたは、今がどのような時であるか知っています。あなたがたが眠りからさめるべき時刻が、もう来ているのです。私たちが信じたときよりも、今は救いがもっと私たちに近づいているのですから。” ローマ 13:11

福音をロックダウンすることは不可能です！

セレブレート・メシア・ニュージーランド ディレクター

スコット・ブラウン

翻訳 駒井洋子

遙かニュージーランドからシャローム。イスラエル人旅行者への私たちの福音伝道最前線での働きが13年目にはいりました。セレブレート・メシア・ニュージーランド (Celebrate Messiah New Zealand, CMNZ) はチョースン・ピープル・グローバル・ミニストリー、これは世界20か国でユダヤ人に福音の手を差し伸べるミニストリーネットワークですが、そのネットワークのニュージーランド支部です。

日本と同様に、ニュージーランドにはユダヤ人居住者は少ないものの、多くのユダヤ人旅行者が訪れます。そのため、私たちのユダヤ人伝道の主な活動は、イスラエル国防軍の兵役義務を終えてニュージーランドを訪れている何千人ものイスラエル人の若者へ向けての伝道活動です。

神に感謝なことに、イスラエル人はいつも旅行しています！イスラエル学生旅行協会の調査によると、毎年、イスラエルの10代の若者3万人から4万人は国を離れ、平均6か月間旅行をするといえます。このことは、福音を伝えるための驚くべき好機をもたらします。なぜなら、彼らはしばしば人生の最も重要な答えを求めて旅に出ていくからです。

私たちCMNZは12年以上、イスラエル人旅行者のために、ニュージーランドの最も人気のあるリゾートエリアに、野外キャンプ場はじめ、心地よいロッジなど、5種類の無料施設を提供してきました。これらの施設は、私たちのスタッフによって管理され、イスラエルからのボランティアも含め、世界中の若者ボランティアがホスト役を務めています。これら貴重な若い信仰者は、6か月のアウトリーチ期間にイスラエル人ゲストと共に過ごし、あらゆる機会を用いて信仰について語り、週2回の福音伝道の催しに参加し、福音のために惜しみなく働いてくれています。このいつものアウトリーチ期間中に、私たちは1500人から2500人のイスラエル人ゲストと個人的で伝道的な出会いを果たします。

しかし、物事はいつまでもいつものようにはいかないものですね。新型コロナウイルス (Covid-19) の上陸についてニュージーランド政府は徹底的に対応をしました。3月19日すべての境界線、入口は封鎖され、3月25日午後11時59分、国は完全に封鎖されました。居住者でない者は48時間以内に国を離れるか、またロックダウン中にどこで自己隔離をするか決めるよう求められました。何もかも止まってしまいました。食品マーケットとガソリンスタンドを除いて、交通機関、学校、ビジネス、礼拝の場など、何もかも止まってしまいました。

興味深いことに、イスラエル人旅行者のある者は、ニュージーランドに留まることを選び、そのうちの21人が封鎖期間の2か月近く、私たちと共に過ごしました！これは、私たちの長期間滞在のゲストと深い交

わりをするための、あり得ないような好機となりました。

神が「灰から飾り」をもたらしてくださり、この素晴らしい機会を喜ぶ者の一人として、一つの物語を



ぜひお伝えしたいと思います。私たちのスタッフのマイケルとテレサのカップルは、ロックダウンの7週間をイスラエル人カップルSとGを快くホストして迎えてくれました。Sは私たちのニュージーランドの施設の一つで過ごしている間に、イエシュア (イエス) について読んで知っていました。そこで、マイケルとテレサの家に二人が訪れた時に、Sの心はすでに整えられていました。

Sとマイケルはユダヤ教とキリスト信仰について何時間も語り合いました。ヘブル語新約聖書を手にして、Sは最初から最後まで熱心に読み通しました。彼は、理解しつつありました。つまり、イエシュアは単なるラビではないこと、そして、その生涯の麗しさ、語る言葉が知恵に満ちていることに引きつけられていました。

マイケルはこう書いています。「昨晚、私たち皆がラウンジにいて、SとGはソファに座り一緒に聖書を読んでいました。二人が使徒の働きを読んで、話を始めました。二人は、突然吹き出して、『イエシュアが亡くなった後の使徒たちについて読んでいて、私たちは、この働きが今もずっと続いているのかと思って。それで、君を見て、笑い出したのさ。この本に起こったことは、今も起こっていると分かった。そして、君たちみんなもそれにかかわっているのだと。すごいよ!』」

いまSは、Gとイスラエルに帰国したとき、メシアニックバイブルスクールに入る可能性について考えています。神を賛美いたします！

使徒パウロは、ユダヤの人の部分的・一時的霊的盲目について深く悲しみ、次のように記しました。『**確かに今日まで、モーセの書が朗読されるときはいつでも、彼らの心には覆いがかかっています。しかし、人が主に立ち返るなら、いつでもその覆いは取り除かれます。**』(2コリント3:15, 16)

SとGの目から覆いが取り除かれるようにお祈りくださいませんか。『**キリストの御顔にある神の栄光を知る知識の光**』(2コリント4:6)を見始めているユダヤ人レムナントの成長のために祈りの輪に加わっていただけませんか。

あなたの世の光なるお方への信仰と希望によって、この難しい時を乗り切ることができるよう、そして主があなたを祝し、あなたの健康と心の平安を守ってくださいますように。

先が見えない時代にある福音の確かさ

CWI CEO

ジョセフ・スタインバーグ牧師

翻訳

駒井洋子

多くの人は、今自分たちが生きている時代は非常に不確かな時代だと感じています。新型コロナウイルス蔓延による全国ロックダウン（封鎖）は言うまでもなく、政治的展望は絶えず変化し、社会不安、株式市場の崩落、バツの大発生など、多くの人はかつて経験したことがないような恐怖を覚え、パニックに陥っています。

私の父はユダヤ人でイエスを信じていません。父は85歳で、いつもは健康上の問題が起ころうと動じることはありませんでした。しかし、このコロナ危機が始まったころ、私に電話をかけてきました。彼は非常に恐れていました。電話で、ウイルスの脅威がなくなるまで、自分は、外出して人と会わないように、家に居るつもりだと言っていました。こんなに心配している父を初めて見ました。

2020年この恐怖は、私たちが福音を携えて手を差し伸べようとしているユダヤ人も含め、多くの人を捕えて放しません。世界中の否定的なうねりの余波は、一連の悪いニュースで私たちに衝撃を与え、多くの人に恐怖を与え続けています。しかしながら、反対の部分もあります。よい面もあります。私たち、クリスチャン・ウイットネス・トゥ・イスラエル（CWI）にとって、過去数か月、必ずしも悪くないニュースが増えてきています。

制限にも関わらず門が開かれる

この恐ろしい時期に、私たちの宣教師たちが、コンタクトをとっているユダヤ人に福音の分かち合いを続けていくとき、目の前のドアが次々と大きく開かれ、良い機会が与えられることを発見しました。テモテ第二の書簡において、使徒パウロは『みことばを宣べ伝えなさい。時が良くても悪くてもしっかりやりなさい。』と書いています。そして、これこそが、CWIがパンデミックにあっても続けていることです。

ロックダウンの制約の中にあっても、ユダヤ人が霊的なことについて、ますます熱心になり、話す準備ができていくことを何度も経験しました。私たちの宣教師が、過去数か月、あるいは数年にわたって伝えてきたことに、以前はほとんど関心を示さないか、全く無関心だった人々が、今や心からの霊的質問をしたり、宣教師が語ってきた聖書の示す回答に耳を傾けようとしています。

パンデミックの間、電話や携帯電話やビデオを使ってユダヤ人と接触してきました。それぞれのユダヤ人求道者のため、できることは何でもしてきました。そしてより重要なことは、私たちが活動を続けると、ユダヤ人がイエスに帰り、平安を見出し、最も重要なことですが、救われるということを経験してきました。

福音はロックダウン（封鎖）されません

Yは、年配のホロコースト生存者で、ロンドンの私たちの宣教師フィリップ・エイモスが、電話越しに、ほぼ毎日福音を伝え、賛美歌さえも歌っています。Zはパリ在住の正統派ユダヤ人で、パリの私たちの宣教師オーレル・ヴィダルが封鎖期間中、ずっと連絡を取り、福音に対して非常に心

を開いています。Zは、町のロックダウンが緩和されれば、オーレルを「隠れユダヤ人信者たち」に会わせると約束しています。彼らは、オーソドックスユダヤ人共同体の中で、イエスをメシアだと信じる

人々で、もし自分たちの信仰を公にすれば家族やコミュニティから拒絶されることを恐れている人たちです。

Aは、以前はアルコール依存症で、イスラエルの宣教師の一人でイガール・ヴェンダーとテルアヴィヴの路上で出会い、彼の教会が経営しているクリスチャンリハビリセンターに連れて来られました。イスラエルでちょうどロックダウンが始まった時期で、イガールは電話で一日に数回、聖書の学びをするためそこに留まりました。イガールは最近、Aが聖書のガラテヤ書の学びの後、「神の子になりたい」と言ったので大喜びしました。Aは罪を悔い改め、救いのためイエスを信じると二人は電話で祈りました。神を賛美いたします！

さいごに、グラスゴウの宣教師グレース・ランは最近、長い間コンタクトをとってきたユダヤ人の一人が、イエスへの信仰を持つようになったと知って喜んでいました。グレースは、Cとコンタクトをとってきました。Cはイスラエルからスコットランドへやってきて15年以上になります。Cは家族に、グレースが改宗させようとしていると言ったり、彼女が十戒のオーディオメッセージを聞かせようとした時に、逃げ出して台所に隠れるようなことさえもしました。そのCがいま、イエスを信じるようになったというニュースを聞いたとき、グレースとともに喜び合いました。Cはイエスにあって、自分の人生の課題に向かう力を与えてくれる新しい感覚の平安と新しい希望を持っているとグレースに話しています。

私の父や私たちの宣教師たちが福音を届け、訓練している多くのユダヤ人だけでなく、Y、Z、A、そしてCなどのためにお祈りください。また、この先が見えない、そして大変な時代に、ユダヤ人にイエスについて語り続けるように、宣教師のためにお祈りください。

ユダヤ人は、魂について心配し、死を恐れています。ここ数か月間、ユダヤ人からの応答が増えていることが何よりの証拠です。この恐怖に対して、答えを分かち合い、彼らを救うことができるただ一人の方メシア・イエスを示すことは大変な特権です。

イエス無しの人生は、先が不確かで恐ろしいものです。しかし、神といることは人知を超えた平安があります。そのことは確かです。

CWIの働きについてなお詳しく知りたい方、隔月誌 Herald および他の出版物をご希望の方は www.cwi.org.uk を検索ください。



主の祝福を祈りつつ

CPM ニューヨーク地区ディレクター マイケル・ハーツ博士

翻訳 石黒イサク

LCJE 日本支部の皆様、シャローム、



福音のために偉大な働きをしておられることを感謝いたします。

新型コロナウイルスによって、チョーズンピープル・ミニストリーズの活動が、どれぐらいの影響を受けているかをレポートして欲しいという依頼でしたので、ここニューヨークのセンターから報告をさせていただきます。

このレポートを書いている私たちのオフィスは、ブルックリンもマンハッタンもニューヨーク市の他の地区同様に、3月中旬から封鎖されています。規制は徐々に解除されつつありますが、日常に戻ってはいません。われわれのスタッフは新しい方法。手段。スキルを学びながら、状況に対応することを模索しています。幸い、主が現在まで必要を満たしてくださっていますので、スタッフが資金集めに奔走する状況ではありません。しかし残念ながら、すでに計画していた多くのプログラムを中止せざるを得ませんでした。子どもたちのキャンプはオンラインの週単位の聖書研究と祈りに変更され、大学での活動はすべてオンラインの企画に変更されまし

た。なにしろ大学に学生が一人もいないのですから、仕方が無いです。路上集会や諸教会での行事はすべて中止か延期となりました。

私が常に感謝していることは、都市は封鎖されても神の国は決して封鎖されないということです。事実として、活動も宣教も継続できるのは、電話やインターネットが使用できる時代に生かされているからです。オンラインの聖書研究、オンライン会議、オンライン集会や交わり、また私たち福音宣教ウェブサイトの人々を招くことができたのです。多くのユダヤ人が、此等のことに新しい興味を抱いてくれたことを喜んでます。なぜ気軽に彼らと係わるようになったかということ、彼らは長く自宅に留められていて、話し相手に飢えていて、誰かとコンタクトしたいという心理状態だからです。彼らは我らと話すこと、我らが祈る事をとても喜んでくれます。

まだ救われていないユダヤ人たちと、このような個人的関わりができて、神の国のために良き実を結びたいと願っています。一人の男性は一度だけ集会に来て、その後封鎖になっても、Zoom や学びを継続し、主が彼の心に働きかけてくださり、一人で考える時間も十分にあって、会衆のリーダーによって信仰告白にまで導かれました。

現在の都市封鎖という環境の中で、孤独感、疎外感を抱いている人たちに主の愛の光が光り輝きますように、皆様のお祈りをよろしくお願いいたします。またわれわれのスタッフが良き働きをすることに疲れてしまわないように、福音宣教の好機が継続しますように、ニューヨーク市にリバイバルが起きるように祈ってください。

www.chosenpeople.com

コロナ禍で、神の忠実さを体験した SST

ステッピング・ストーンズ・トゥッティ オデリア・グレース・ジャニス

翻訳 石黒イサク

過去1年間(2019-2020)、香港特別行政区の誰にとっても非常に奇妙な年でした。すべての出来事が突然起こったのです。100万人~200万人が参加するデモにつぐデモ、暴動につぐ暴動、逮捕につぐ逮捕。不当な理由で投獄された人々、未知の理由で死ぬ人々、どのニュースが真実か虚偽か分からないフェイクニュースの拡散。中高年の両親、ティーンエイジャーにとっても、教会の兄弟姉妹も、分断は格差が広がっています。お

互いに意見が合わないという理由だけでフェローシップに行くのをやめた人もいれば、友人と個人的に一緒に滞在するために家を出た人もいました！香港の人々は、状況と将来に悲観して落胆し、絶望的になります。その後、2020年1月から、Covid-19のパンデミックは、3月~4月頃に減少したので、当局は安堵の息をつき、反政府デモを少し飼いならすのに役立ちました。パンデミックの流行が6月末から再燃するにつれて、香港

の状況は再び厳しくなり、緊張しています。多くの産業や企業の経済状況は悪化し、資金不足で崩壊しました！

住民はほとんどの場合家にいるよう要求され、学校はすべて数ヶ月間閉鎖され、人々は自宅で働くように命じられています。

最近の憂鬱な期間を通して、私たちの神様の素晴らしさを経験しました。香港を訪れるイスラエルからのバックパッカーや観光客がゼロでしたが、私たちの父が私たちと一緒にいて、彼はずっと忠実であり、私たちを見捨てないこと示し、SST(ステッピング・ストーンズ・トゥッティ)に慈悲を深く表してくださいました。私たちは、医療用マスクと医療必需品を提供することによって、香港で奉仕してきたユダヤ人の友人と深い愛と強い絆を経験しました。私たちは、イスラエルの外務省と在香港イスラエル大使館を通して、ホロコースト生存者、寡婦の母親、ホームレス、孤児、高齢者、障害者と盲人、依存症 & 麻薬中毒者、また清掃業者、医師や看護師、貧しい人々、異なる病院の医療チームを助けるために、イスラエルにマスクを送ることができました。このように神は、助けを必要とする人々を祝福できるように、私たちを用いてくださいました。過去数ヶ月の間に香港在住の2人のイスラエル人のビジネスマンがSSTに導かれて来ました。彼らは私たちに、新しいドナー達を紹介してくれましたので、私たちは困っている人々に自由にマスクを寄付することができます。彼らとの友情が築かれて感謝しています。驚いたことに、私たちが初めて彼らに会ったときから、彼らはキリスト教徒とイエシュアに大きな好意を持っています。だから、私たちはすぐに打ち解けて、素晴らしい友達になりました。私たち(異邦人とユダヤ人)が協力して、将来助けを必要とする人々を祝福し、さらに多くの人々を祝福する中で、神はこの機会を伝道の好機にするよう導かれたと思います。これが今後この協力関係が拡大されれば、長期的に素晴らしい伝道の好機となることでしょう。

マスクなどに関して私たちは素晴らしい経験をしました。以前香港に居たイスラエル在住の友人たちは、1月のコロナ大流行の時に、香港の品不足を知ってマスクを送るために、イスラエルで寄付するキャンペーンをしてくれました。奇跡的に神は、私たちにエルアル航空の客室乗務員を用いてくださいました。彼女はメシアニック信者ではありませんが、神に対する大きな信仰を持っています。彼女は予定外の香港便に志願して、わざわざ物資を私たちに届けてくれたのです。彼女は私たちと共に夕食をして、翌日にはイスラエルに戻って行きました。彼女の同僚はコロナが出ている香港行きを嫌がっていたので、彼女とフライトを交換したそうです。また彼女は上司に、自分の所有物ではない物を携行する許可まで取ってくれたそうです。神は確かに私たちがその時に最も必要なものを持って来るために、彼女を送ってくださいました。それはキャンペーンを開始した4日以内だったことも聞いて、私たちは言葉を失い、すべてのことを主に感謝しました。

そしてその見返りとして、イスラエルで流行が始まっ



た時、香港は状況が改善していましたので、私たちは買うことができるマスクと消毒剤をイスラエルに送ってもらえるように交渉し、友人たちを助けることができました。確かに私たちはお互いを自分の家族として扱い、彼らが私たちを家族として扱うのと同じように、彼らを気にかけて、愛しています！神様は私たちのこの度の行動によって、イエシュアにある愛を彼らに示す好機としてくださいました。これにより、私たちはお互いの友情を深く、より強く築き上げましょう！彼らは、私たちが彼らを愛することについて、口先の言葉だけでなく、実際の意味で彼らに助けを提供することによっても、行動していることを知っています。神は常に素晴らしい御方です。神様は常に最高の御方です。

私たちは今後、神がどのような導かれるのか分かりませんが、神が神を愛する人々に忠実であり、目の前の状況・嵐の中でさえも私たちを見捨てないことを知っています。彼は荒れ狂う海を鎮め、神を信じる人々のために奇跡を起こす、唯一の真の神です。私たちは、私たちの仕事が続き、神だけが知っている方法で、香港の近隣のユダヤ人に奉仕するために、より多くの扉が開かれることを祈り、私たちはただ神の導きに従い、謙虚な心で彼の器として用られることを願っています。

以下は私たちの祈りの要請事項です：

- ・2016年以来、SSTは1600人近くの人々に奉仕し、友人との絆と友情がますます深くなり、近い将来イスラエルを訪れることができる時、彼らに伝道する機会が増えることを祈っています。
- ・2020年のSSTの後半の目標を祈り、イスラエルの友人を訪問するために旅行することができないこの時期でさえ、神がどのように私たちを進めてほしいと思っているのかを知ってください。
- ・イスラエルのCovid-19パンデミックの第二波、特に老人と貧しい人々が生き残ることができるように祈ってください。イスラエルの友人たちが、家にいる時間が増えている間に、人生とイエシュアについて深く考える時間が増え、イエシュアを信じる人々が起こされるように祈ってください。

メシアの家代表 網本 バフロ

非常事態宣言が解除された今、日本では「新しい生活様式」が広まり、少しずつ変わろうとしています。私たちは聖書による神の救いを得られているように、新型コロナウイルスの感染から自分の身を守るために政府に提示された「新しい生活様式」を身につけるべきですね。もしイエシュア信者がそれをマスターできなかった場合、すでに宿られた新しい霊をどうして管理できるでしょう。

「上から来られる方は、すべてのものの上におられる。地から出る者は地に属し、他に属する者として語る。天から来られる方は、すべてのものの上におられる。この方は、見たこと、聞いたことを証しされるが、だれもその証しを受け入れない。その証しを受け入れる者は、神が真実であることを確認したことになる。神がお遣わしになった方は、神の言葉を話される。神が“霊”を限りなくお与えになるからである。御父は御子を愛して、その手にすべてをゆだねられた。御子を信じる人は永遠の命を得ているが、御子に従わない者は、命にあずかることがないばかりが、神の怒りがその上にとどまる。」ヨハネ3：31～36

☆ J ♥ ISL 部屋 ☆



図1【シャブアウト】

■イスラエル手話（※外国手話使用）

図2【ベサハ / マツツァ】

■イスラエル手話（※外国手話使用）

今、新型コロナウイルス感染の予防対策として世界中がオンライン社会化しています。実は、私たち「メシアの家」では、新型コロナウイルスが中国で発生するずっと前から日本手話によるオンラインサービスがありました。ハレルヤ!!! 神の美しい計画のおかげで、日本手話による聖書の情報環境は今も守られています。今度は、私たちに宿られる新しい霊の成長を妨げないレベルでの新しい生活様式を工夫しています。

「こういうわけで、兄弟たち、神の憐みによってあなたがたに勧めます。自分の体を神に喜ばれる聖なるいけにえとして捧げなさい。これこそ、あなたがたのなすべき礼拝です。あなたがたはこの世に倣ってはいけません。むしろ、心を新たにしてお自分を立て直し、何が神の御心であるか、何が善いことで、神に喜ばれ、また完全なことであるかをわきまえるようになりなさい。」ローマ12：1-2

メシアの家の礼拝スタイルは、基本的にイスラエルの家庭的なシャバット（金曜日夜）をシンボルとした、少数型の

「おうち礼拝」です。少数型とは、まず人数が限られているということです。人数が増えた場合は、もう一つの「おうち」が必要となり、チームに分かれて礼拝をします。不思議なことにコロナウイルスのクラスター（集団感染）の予防条件と合い、主に感謝です!!

「愛する者たち、あなたがたに勧めます。いわば旅人であり、仮住まいの身なので、魂に戦いを挑む肉の欲を避けなさい。また、異教徒の間で立派に生活しなさい。そうすれば、彼らはあなたがたを悪人呼ばわりしてはいても、あなたがたの立派な行いをよく見て、訪れの日に神をあがめるようになります。」ペテロ2：11-12

そして、私たちメシアの家は、イエシュア信者の聖書による情報環境だけではなく、一般人（未信者）向けのインターネットによる聖書博（動画鑑賞とオンラインサロン）を2015年からやっています。毎年全国の10名限定の一般人ろう者たちが参加して、60以上の動画を鑑賞しています。動画の内容は、イスラエル学、聖書の歴史、聖書による人生観、未来の預言などが含まれています。もちろんメシアの家方針の一つである日本人ろう者が日常的に使っている日本手話（新しい教会手話ではない）を使用しています。イスラエル学のおかげで現在、受講メンバー50名のうち神の救いを得たい人が15名以上現れました。どうか、イエシュアに救われるようにお祈りください。

私はミライロ株式会社より（日本語が読めない）日本人ろう者及び世界のろう者をサポートする新型コロナウイルス予防対策の日本手話キャスター担当にスカウトされ、IS（国際手話）を共有しながら情報提供の仕事に携わっています。世界中の各国に住んでおられるユダヤ人ろう者のために私を用いてくださる、神の大きな憐みについて毎日感謝しています。

◇ミライロ・コネクト手話情報

詳細：https://www.mirairo.co.jp/information...

また、ユダヤ人ろう者伝道に関する情報がありましたら記載します。皆さまもご存知の通り、ろう者はマイノリティであるため、聴者より人数が少ない分、資金面による運営が厳しい状態です。皆さまより私たちメシアの家の働きのためにご支援をお願いいたします。

【メシアの家】ゆうちょ銀行

記号

10080 番号 87052131 メシアノイエ

店名

〇〇八（ゼロゼロハチ）店番 008 普通貯金 8705213

（他銀行からのお振込）

Email: info@hom-japan.com

（お振込みいただいた後、ぜひ Email にてお知らせ下さい）



行(き)て、語(れ)

アップル・オブ・ヒズアイ・ミッション・ソサエティー スティーブ・コーヘン

翻訳 石黒イサク



スティーブ & ナンシー・コーヘン
アップル・オブ・ヒズアイ・ミッション・ソサエティー 創設者
アメリカ合衆国テキサス州ジョージタウン
www.appleofhiseye.org

私は1976年6月から、ユダヤ人伝道の最前線で主に仕える特権にあずかっています。私たちは、様々な経済的な動揺、2001年9月11日の出来事、暴動、策略、銃撃事件、そして相対的な穏やかで繁栄の時代を経験してまいりました。

しかし2020年3月に、ジョージア州サバンナでのプレゼンテーションを終えて、約1,200マイル(1,900km)を運転して家に帰った時、状況は大変化しました。都市封鎖という異例の事態になったからです。私たちは幸い無事に家に到着することができ、数週間分の食べ物を確保して、自宅待機となりました。

私たちの春の講演予定、カンファレンスなどのスケジュールがCovid-19のために、すべてキャンセルされ、数ヶ月もかかって準備していたものは、一気に取り消されてしまいました。私たちは自宅に居て、伝道の機会をすっかり奪われてしまったかに見えましたが、実は全く予期せぬことがあったのです。

私たちはこの期間に、必要な建物などの修理をしました。最も驚くべきことは、修理に来てくれた作業員のほとんどがユダヤ人であるか、ユダヤ人と結婚している人たちだったのです。

テートはアリゾナ州出身の大学生で、ソーラー・システム販売会社の出張作業チームの一員でした。彼はミネソタで予定していた工事が中止になり、私たちの家が彼にとって作業開始の家でした。誰かが私たちを訪問したり、電話で話すたびに、私たちはいつも「あなたはイエス様をどう思いますか？」と尋ねることにしています。テートの即座の反応は、イエスに関心が無いと言うかのように「私はユダヤ人です!」でした。しかし、私は彼に「私もユダヤ人だ。」と言いました。少し話す中に彼は、私が大学時代にメンバーだったのと同じ大学のユダヤ人サークルに参加していることがわかりました。

私は彼に、新約聖書を読んだことがあるかどうか尋ねました。彼が無いと言ったので、「君は自分で読んで判

断できる年齢なのだから、この非常にユダヤ的な本ぜひ読んでみなさい」と勧めました。彼は私と出会って、ユダヤ人でありながらイエスを信じるということに、非常に興味を抱いたようです。彼は連絡先を渡してくれましたので、私たちは今後、彼と対話を続けることができます。

ボブとクリスティ・ローグナーは、1月にイスラエルで新しい働きに着任したばかりでしたが、国が閉鎖されたため、3月にフロリダに戻ることを余儀なくされました。しかしzoom使用を通じてヤッファのイマニエル・ルーテル教会の会衆との接触を維持しているので、彼らのミニストリーは継続されています。その会衆は過去数ヶ月にわたって集会を開くことができなくなっています。

現在その会衆では、イスラエル聖書大学を卒業したばかりの非常に活発な若い教師が、若い信者たちを指導しています。悲しいことに、会衆の主任牧師が彼の地位から退くことになったために、理事会はボブに新しい主任牧師が到着して落ち着くまでの期間「空席牧師」として働くように頼みました。私たちの理事会は、新しい牧師が配置されるまで、ボブがこれらの義務を引き受けることを許可することに合意しました。このようにして、一見バラバラに見えた事柄が、すべて一つに結びあわされるのを見るのは驚くべき事です。

私は1986年に、ウェア・イングランドで初めてのLCJEミーティングに出席しました。そこで初めて私は、アメリカ、イスラエルなどで、長い間ユダヤ人伝道の分野で奉仕してきた重要な人々の何人かと親しくなりました。これらの交流・連携によって、私はイスラエルで「イスラエルの失われた羊たち」のために働く御業が、主の御手によって拡張されつつあることを見ることが出来ます。

ボブとクリスティは、封鎖が解除されるならばテルアビブの現場に直ちに帰って、豊かに熟して待っている、大いなる収穫に関わるにことになっています。

現在のように自宅で過ごす時間は、私の今まで44年間の奉仕の中で、最も長いものです。この期間に私は、執筆だけでなく、ウェブなどでより多くのことを行うことができました。私はちょうど『メシアと聖書的祭り』四部作のシリーズを書き終えました。それは現在、私たちのウェブサイトにつながっています。

<https://www.appleofhiseye.org/connect/aohe-tv>

私たちの安全、保護、継続的な証しの機会のためと、エルサレムの平和のためにあなたの祈りを切望します。平和の君・イエス様の御名と知識によって、



編集からのひとこと

実は、コロナ禍はスティーブ・コーヘン師（本誌7ページに記事掲載）の宣教の働き意外に、そのユダヤ系の家族にも影響しています。2020年4月3日ワシントン州のホスピスの隔離状態で、スティーブさんのお母さんが新型コロナウイルス感染症で亡くなりました。約50年前にスティーブさんがイエス様を信じて告白したときに、両親はスティーブさんと一切、縁を切りました。スティーブさんに会ったり、電話に出ることを拒み、郵便物も開けずに返送しました。スティーブさんの家族や子供たちにも同じ扱いでした。

一方、スティーブさんは地道に両親の救いのために祈り続けました。数年前にお父さんは死ぬ直前にイエス様を受け入れて病床洗礼を授かりました。けれども、お母さんは反発のままでした。お母さんが意識を失うまでにイエス様を受け入れたかどうかは不明のままです。

尚、スティーブさんの息子ミチャさん（JFJ宣教師）は、恐ろしい病気、ハンチントン病の末期段階に入ったそうです。感染リスクが高いゆえに、一切、病室の訪問ができません。コーヘン家のために続けてお祈りください。

LCJE日本エリアコーディネーターより

LCJEニュースの愛読者の皆様お一人お一人の上にイスラエルのメシア、主イエス様の最も豊かな祝福を心からお祈りいたします。そして、私自身から皆さまのLCJE日本支部のためのこれまでの貴いお捧げものとお祈りを深く感謝いたします。

さて、今年春からのLCJEニュースの発行回数の変更をお知らせいたします。今まで毎月発行させていただき

ましたが、財政状況等のゆえに今年から年2回発行することになりました。印刷物として4月と12月に発行する予定ですが、LCJE日本支部のホームページを一層活かしていつものように世界のユダヤ人宣教の情報や課題、記事を提供したいと思います。印刷物もインターネットやPDFも、今後ともどうか変わらずにご愛読をよろしくお願いいたします。

C. クリゲンズミス

LCJEは、ユダヤ人伝道団体の情報交換ネットワークです。加盟しているユダヤ人伝道団体それぞれの立場・活動を尊重して、機関紙などに情報を掲載しています。しかし特定の立場・教理などを、LCJEとして支持するものではありません。読者におかれましては、個々の見識によって提供される情報を判断していただきますよう、お願いいたします。

2020年度祈禱会予定

場 所	10月	11月	12月	会 場
大阪 (6:30より)	8日	12日	10日	北浜スクエア (VIP関西センター8F)
東京 (1:30より)	10日	14日	12日	御茶ノ水クリスチャンセンター 8F 811号室

【大阪祈禱会にご参加される方へ】第二木曜日午後6時半開始です。

【東京祈禱会にご参加される方へ】ご注意ください▶通常祈禱会の会場は、811号室ですが、変更される場合があります。階下の掲示板をご覧ください。

LCJE日本支部 2020年08月度会計

収入・献金			支出・現金		
科 目	金 額		科 目	金 額	
献 金	58,000		事 務 費	2,000	
大阪祈禱会席上献金	—		NEWSレター製作費	0	
			郵 送 費	0	
			郵便振替手数料	2,650	
			通 信 費	2,800	
			賃 借 ・ 管 理 費	22,000	
			高 熱 費 ・ 共 益 費	11,500	
			交 通 旅 費	7,000	
			祈 禱 会 経 費	0	
合 計	58,000		合 計	47,950	
			差 引 残 高	10,050	
前月よりの繰越	73,781		次 月 繰 越 金	83,831	

事務局よりのお知らせ

LCJE日本支部では、皆様からの御投稿をお待ちしています。インターネットでの御投稿、原稿用紙での御投稿いずれも大歓迎いたします。文字数は2000文字前後でお願いいたします。投稿記事は、封書で送っていただくか、LCJEJAPAN@HOTMAIL.COM 又は FAX 072-867-6721 まで。宜しくお願い致します。

編集後記

コ・ワーカーの皆様、継続的なお祈り、そして尊い献金を心より感謝します。季刊号としてのヘニュースレターをお手元へお届けできる幸いを主に感謝します。今月号も興味深い記事内容に仕上がっています。編集作業・事務所運営の事も覚えてお祈りください。一日も早いコロナウイルスの終息を主にあって願います。今月も多くのユダヤ人が主とお出会いし救い主を受け入れる事、そしてイスラエルの平和を執り成しお祈りいたしましょう。主の祝福がありますように。

シャローム

LCJE日本支部事務局長 高瀬真理

LCJE日本支部は、皆様の尊い献金で支えられています。感謝